

津島市 高齢者介護に関する調査
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、
事業者向けアンケート調査)
調査結果報告書

令和2年3月

津 島 市

目 次

I 調査の概要

1	調査の概要	1
1-1	調査の目的	1
1-2	調査の設計	1
1-3	回収の結果	2
1-4	報告書の見方	2

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1	対象者の属性	3
1-1	調査票の記入者	3
1-2	性別	3
1-3	年齢	3
1-4	居住地区	4
1-5	要支援等の認定状況	4
2	家族や生活状況について	5
2-1	家族構成	5
2-2	自身の介護・介助の必要性	5
2-3	介護・介助が必要になった原因	6
2-4	主な介護・介助者	7
2-5	現在の暮らしの経済的状況	7
2-6	住居形態	7
3	からだを動かすことについて	8
3-1	からだを動かすことについて	8
3-2	転倒について	8
3-3	外出について	9
4	食べることについて	16
4-1	身体の状況について	16
4-2	口腔機能について	17
4-3	食事の状況	18
5	毎日の生活について	19
5-1	物忘れ等について	19
5-2	毎日の生活について	20
5-3	社会参加について	21
6	地域での活動について	22
6-1	地域活動への参加状況	22
6-2	地域づくり活動への参加意向	25

7	たすけあいについて	27
7-1	まわりの人とのたすけあいの状況	27
7-2	家族や友人以外の相談相手	29
7-3	友人関係について	30
8	健康について	32
8-1	自身の健康状態	32
8-2	現在の幸福度	32
8-3	心の状態について	33
8-4	飲酒・喫煙の状況	34
8-5	現在治療中、または後遺症のある病気	35
8-6	市が開催している健康づくり・介護予防教室等について	36
9	地域の社会資源について	40
9-1	市の住みやすさに対する満足度	40
9-2	かかりつけ医の有無	41
9-3	かかりつけ医がいない理由	42
9-4	市の地域包括支援センターの理解度	43
9-5	地域包括支援センターの利用状況	44
9-6	地域包括支援センターに注力してほしい役割	45
9-7	気軽に外出できる自宅近くの場所の有無	46
10	今後の介護・高齢者施策について	47
10-1	自身が受けたい介護	47
10-2	介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方	48
10-3	市に望む高齢者への介護体制の充実	49
10-4	最期を迎えたい場所	51
10-5	人生会議の理解度	52
10-6	人生会議の実施状況	53
10-7	人生会議で考えた内容	54
10-8	家族における認知症の症状の有無	55
10-9	認知症の相談窓口について	55
10-10	津島市の認知症施策の知名度	57
10-11	介護・高齢者福祉に対する意見・要望	58
11	認知症チェックリストの状況	69
11-1	認知症チェックリストの状況	69

Ⅲ 在宅介護実態調査

1	対象者の属性	71
1-1	調査票の記入者	71
1-2	性別	71

1-3	年齢	71
1-4	居住地区	72
1-5	要介護度	72
1-6	世帯類型	72
1-7	現在抱えている傷病	73
1-8	訪問診療の利用状況	74
2	必要な介護やサービスの利用などについて	75
2-1	介護保険サービスの利用状況	75
2-2	介護保険サービスを利用していない理由	76
2-3	今後受きたい介護	78
2-4	施設等に入所・入院したい理由	79
2-5	施設等への入所・入居の検討状況	80
2-6	今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容	81
2-7	介護保険サービス等以外のサービスの利用状況	83
2-8	今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	85
2-9	在宅生活の継続のための在宅医療の利用意向	87
2-10	在宅医療を利用したいと思わない理由	88
2-11	人生会議の理解度	90
2-12	人生会議の実施状況	91
2-13	人生会議で考えた内容	92
2-14	介護・高齢者福祉に対する意見・要望	93
2-15	家族介護の頻度	96
3	主な介護者の方について《介護者への質問》	97
3-1	主な介護者の続柄	97
3-2	主な介護者の性別	97
3-3	主な介護者の年齢	98
3-4	現在行っている介護	99
3-5	不安に感じる介護	101
3-6	津島市の認知症施策の知名度	103
4	主な介護者の方の就労について《介護者への質問》	104
4-1	主な介護者の勤務形態	104
4-2	介護のための働き方の調整	105
4-3	仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援	106
4-4	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	107
4-5	介護を理由とした家族等の離職の有無	109
4-6	離職・転職の最大の理由	109
4-7	再就職・復職の可否	110
4-8	介護・高齢者福祉に対する意見・要望	110

IV 事業者向けアンケート調査

1	サービスの実施状況	119
1-1	サービス提供の状況	119
1-2	介護サービスの実施状況と実施予定	120
1-3	介護サービスの利用者数及び利用回数の状況	121
2	介護予防・日常生活支援総合事業等について	122
2-1	市の総合事業における『卒業』の考え方について	122
2-2	市の総合事業におけるサービスの内容について	123
2-3	総合事業の利用における利用者との目標の共有の状況	125
2-4	生活支援コーディネーターの相談機能の理解度	125
2-5	在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）の知名度	126
2-6	多職種連携についての意見	126
3	現在抱えている問題点について	127
3-1	人材マネジメント上、抱えている問題	127
3-2	人材育成に取り組む際の問題点	128
3-3	職員の確保と定着向上の問題点	129
3-4	居宅介護サービス計画を作成する上での問題点	130
3-5	ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること	131
3-6	利用者や家族からの苦情の内容	132
3-7	介護・高齢者福祉についての意見	133

V 調査結果より

1	調査結果より	135
---	--------	-----

I 調査の概要

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、「津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっての基礎資料として、また、今後の高齢者の福祉行政の基礎資料として、介護保険サービスの利用状況・利用意向や高齢者の生活実態、福祉をはじめとする各種事業の利用意向、意見・要望等を把握する目的で実施しました。

1-2 調査の設計

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) 調査地域 津島市全域
- (2) 調査対象 津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けていない者、要支援1・2と認定された者及び事業対象者
- (3) サンプル数 1,500人
- (4) 抽出方法 無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 令和元年11～12月

【在宅介護実態調査】

- (1) 調査地域 津島市全域
- (2) 調査対象 津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けている者
- (3) サンプル数 914人
- (4) 抽出方法 全数
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 令和元年11～12月

【事業者向けアンケート調査】

- (1) 調査地域 津島市全域
- (2) 調査対象 津島市内にある介護保険事業所を有する法人
- (3) サンプル数 44法人
- (4) 抽出方法 全数
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 令和元年11～12月

1-3 回収の結果

	配布数	回収数	有効	無効
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500 100.0%	984 65.6%	978 65.2%	6 0.4%
在宅介護実態調査	914 100.0%	506 55.4%	483 52.8%	23 2.5%
事業者向けアンケート調査	44 100.0%	36 81.8%	36 81.8%	0 0.0%

※白紙票及び認定データと照合不能の票を無効としました。

1-4 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのためパーセントの合計が100にならないことがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、件数として掲載しています。したがって比率は、件数（「N」で示し、無回答者を除く）を100%として算出しています。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体（無回答者を除く）のうち何%なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えています。
- (4) クロス集計表においては、分析軸となる設問（左列）の無回答者を非表示としているため、分析軸部分の合計の件数と「全体」の件数とが合わない場合があります（分析軸が性別・年齢・認定状況（要介護度）・圏域の場合は件数が合致します）。
- (5) 本報告書中の集計表のセル内の数値は、特記のない限り、上段が件数、下段が構成比（%）を示しています。前回調査（平成29年実施）と比較する集計表のセル内の数値は、件数の列を除き、すべて構成比（%）を示しています。
- (6) 本報告書中の表、グラフ等の見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。また、構成比（%）が0.0%の場合は、グラフにおいては見やすさを優先して数値を非表示としています。